

創業のための

扇町インキュベーションプラザ (Mebic 扇町) 誕生

中小企業者のための各種イベントも計画

創業、企業を考えている個人やベンチャー企業のために、一味違う新感覚の
仕事場「扇町インキュベーションプラザ (Mebic 扇町)」が5月に大阪市北区南
扇町に誕生しました。

扇町公園南側の大阪市水道局庁舎の2階から5階までを改装して作りました。
3階から5階までに情報系を中心とした個人や企業のオフィスを設け、これら
企業の技術開発、経営相談に応じながら創業の支援ができるようにしています。
また、IT 周辺企業だけではなくすべての中小企業の異業種交流、共同事業を
実現しやすいように、さまざまな事業を実施してゆくことにしています。

オフィスの入居契約は1年間ですが、再契約を2回まで、つまり最長3年間
まで入居可能。賃料はかなり安くしているということです。周辺に新聞社、テ
レビ局、情報系専門学校が多いことなどから、入居対象者(社)はIT関連を
目指すベンチャーや個人を中心にしています。大阪市の外郭団体が運営してい
ますが、入居希望者は同市以外の誰でもかまいません。

Mebic 扇町はこれら入居者からの経営相談はもちろん、連携先や交流先探しな
ど幅広く支援してゆく方針です。

設備は事務所のほかコラボレーション室、会議室、事務室など。各事務所フ
ロアにレストスペース、リフレッシュコーナーがあり、リラックスした雰囲気
の中で、他の事務所の入居者と議論したり、アイデアを出し合って交流でき
るようにしています。

アメリカのシリコンバレーなどでベンチャー企業が次々、誕生していった過
程で、技術者たちが集まりコーヒーを飲みながら情報や知恵を交換し合った「IT
カフェ」のような場になることを期待しています。

「人と情報の交流の場」になることがこの施設の大きな目的で、Mebic 扇町では
入居者以外の企業や個人も対象にして今後、さまざまなイベントやセミナー、
異業種交流会などを実施してゆく予定です。オープニングシンポジウムが開か
れた6月5日には「都市型インキュベーションの果たすべき役割」と題する講

演、「異分野交流とコラボレーションの場としてのインキュベーションのあり方」をテーマにしたパネルセッション、さらに関係者の交流パーティーが催されました。

7月以降は「扇町クリエイティブカレッジ」と題して各種の講座を予定しており、「詳細は具体的に決まり次第、ホームページ、メールマガジンなどでお知らせします」と話しています。

施設は午前 10 時から午後 9 時半までオープンしており、(日祭りと年末年始を除く) 会議室、コラボレーション室、入居者以外の誰でも利用できるロビーもこの時間帯まで利用できます。

4 室ある会議室の利用料金も安く抑えており、例えば 24 名収容できる「会議室 2」(43,20 m²) の場合、午前 10 時から 12 時半までの利用で 2200 円、午後 1 時半から同 5 時半まで 3500 円、午後 6 時半から同 9 時半までが 2600 円となっています。但し、利用には予約が必要です。

申込、問い合わせなど詳細については Mebic 扇町へ。同所の正式名称、住所、電話などは以下の通りです。

扇町インキュベーションプラザ メビック扇町

〒530-0052 大阪市北区南扇町 6-28 水道局庁舎 2 階

TEL 06-6316-8780

e-mail info@mebic.com <http://www.mebic.com>

以上